

令和3年の自殺者数の特徴について

1 令和3年の特徴

(1) 全般状況

- ・令和元年と比較して、59人増加した（144人→203人）。
- ・増加した人数の約9割は、60歳以上男性（以下、高齢男性と呼称。令和元年比17人増）、および39歳以下男性（以下、若年男性と呼称。同24人増）、39歳以下女性（以下、若年女性と呼称。同12人増）で占められる。

(2) 若年男性の詳細

- ・**自殺者数** 57人（市全体は203人）。属性別では無職者17人、勤労者29人、学生生徒11人。
- ・**自殺死亡率** 35.9（市全体は19.0）。属性別では無職者232.9、勤労者24.8、学生生徒32.0。

・原因動機

①全体

- 経済問題（約3割）、健康問題（約2割）、勤務問題（約1割）で、全体の6割を占める（従来と同様の傾向）。

②無職者

- 健康問題（約3割）が勤労者と比較して高く、経済問題（約5割）と合わせて全体の8割を占める（従来と同様の傾向）。

③勤労者

- 健康問題（約2割）が無職者と比較して低く、勤務問題（約3割）、経済問題（約2割）と合わせて、全体の7割を占める（従来と同様の傾向）。

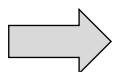
- 男女問題（約2割）が、令和元年までの3年間と比較して、増加した。

④学生生徒

- 学校問題（約5割）と経済問題（約2割）を合わせて、全体の約7割を占める（従来と同様の傾向）。

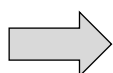
2 令和3年の特徴を踏まえた取組みについて

高齢男性



【継続】高齢男性に対応できる高齢者を対象とした取組み

若年女性



【継続】若年女性に対応できる若年者を対象とした取組み

若年男性



若年男性、若年女性に関わらず自ら相談行動を起こしづらいなど若年者特有の特徴がある。このことを踏まえ、令和3年度から実施している若年女性に対応できる若年者を対象とした取組みで、若年男性を含めて対応する。